

会 議 録

1 会議名

令和2年度第6回有田区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【協議事項】

- ・令和3年度地域活動支援事業について（公開）
- ・自主的審議事項について（公開）

3 開催日時

令和3年2月1日（月）午後6時30分から午後6時57分

4 開催場所

上越市カルチャーセンター ミーティングルーム

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員： 熊木敏夫（会長）、樺沢早苗（副会長）、五十嵐里枝、池田憲雄、牛木幸一、内山幸一、荻原慶一、栗間良子、佐藤正知、杉林文義、高橋邦夫、高橋秀樹、平井弘一郎、藤井英夫、山崎栄一、渡辺恵子（欠席者2名）
- ・事務局： 北部まちづくりセンター：中村センター長、小池係長、霜越会計年度任用職員

8 発言の内容

【中村センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【熊木会長】

- ・挨拶

- ・会議録の確認：高橋邦夫委員、高橋秀樹委員に依頼

議題【協議事項】令和3年度地域活動支援事業について、事務局へ説明を求める。

【小池係長】

- ・資料No.1「令和3年度地域活動支援事業 有田区の採択方針等について（案）」に基づき説明

【熊木会長】

それでは採択方針から順に決定していきたいと思う。

○採択方針：資料No.1のとおり、昨年度と同様とすることで委員の賛同を得る

○募集期間：4月1日（木）から5月7日（金）まで

○周知方法：説明会の日程を3月22日（月）開催に変更し、他は資料No.1のとおりとすることで委員の賛同を得る

○補助率等：資料No.1のとおり、昨年度と同様とすることで委員の賛同を得る

○審査方法：資料No.1のとおり、昨年度と同様とすることで委員の賛同を得る

○その他：資料No.1のとおり、昨年度と同様とすることで委員の賛同を得る

それでは、令和3年度地域活動支援事業の採択方針等については、以上のとおり決定とする。

次に【協議事項】自主的審議事項について、事務局へ説明を求める。

【小池係長】

前回の会議で自主的審議事項のテーマを話し合っていたいただき、「カルチャーセンターをもっと人が集まって使いやすくできるような仕掛けづくりを話し合ったらどうか」という意見をいただいた。

本日は、前回の続きとして、他にも何か話し合いたいテーマがあればご意見をいただきながら、委員同士で地域の課題についての共通認識を持っていただければと思う。

今後の進め方としては、本日テーマを決めた場合でも、スケジュール的に具体的にそのことについて話し合うのは、来年度に入ってからになるかと思う。本日、テーマを決まればそのテーマで来年度以降話し合っ、また現状について把握したり、課題について話し合っただけであればと思う。

【熊木会長】

説明に対し、質疑を求める。

【牛木委員】

自主的審議事項の中でも、「カルチャーセンターに人が集まる仕組みづくり」というのが一つテーマとしてあるということで非常によろしいと思う。それに付随して、地域活動支援事業の活性化というか、地域活動支援事業をいかに周知できるか。いかに提案がたくさん出てくるかという方法について話し合ってはどうか。毎年同じような団体が提案してくるので、新しい組織とか地域の活動という芽があまりわからないし、そういう芽を育てるという意味でどうしたらいいのかということも、「カルチャーセンターに人が集まる仕組みづくり」と同様にこの地域活動支援事業の活性化を図る、組織づくりもテーマにしていただきたい。

【熊木会長】

今の提案について、次回等に話し合いの一つのテーマとして上げていきたいと思う。他に意見等を求める。

自主的審議事項、大きなくくりで意見等を伺うとなかなか出ないとは思いますが、皆さん個別にいろいろな組織等に所属されている方々なので、自分の所属するところで「有田区の現状をいかにしたらいいのか」を意見として出していただけるように、できる限り次の自主的審議の会議までに、意見をまとめて来ていただきたい。

同じような団体から出ていることは、どうしてもそういう団体は通年でやっている。継続的に通年体制でやっているのです、どうしても最初に依存すると大体依存してしまう。予算等があるから、それを計上しているのだと思うが、できればいろいろな分野で、たとえわずかな金額でも提案していただければと思うので、委員の方々も周りにアンテナを張って助言いただければと思う。

【小池係長】

スケジュール的には来年度、まずは地域活動支援事業の募集がある。それに伴う採択審査が例年5月の終わりぐらいになり、そこが第1回の会議という形になっているのが現状である。そこからまた追加募集があると、またどんどん後にずれていってしまう。自主的審議のテーマは今日必ずしも決めていただかなくても良いが、前回のカルチャーセンターの件、それから今の牛木委員のご意見は、地域活動の推進というか、もう少し新しい団体グループの設立の推進活動が活発になればというご意見かと思う。二つのうちのどちらかをテーマにするのか、また別の意見が出てくるのか、今の時点では何とも言えないが、これからどうしたらいいかほかの人のご意見もあればお聞きしたい。

【熊木会長】

本格的に自主的審議事項の話し合いをするのは5月以降ということになり、十分時間があるので、その間に自主的審議事項に値するようなテーマ等があったら、意見集約をしていただきたい。

次に「その他」について、事務局へ説明を求める。

【小池係長】

現在、直近で協議を行う必要のある諮問等の案件はない。議題等が出てきたら会長と相談して、ご案内をさせていただきたい。3月22日の募集説明会の案内については、別途委員の皆さんと町内会長、提案団体の人にも郵送でご案内をさせていただくので参加をお願いしたい。

【牛木委員】

事務局に伺いたいのだが、昨年度末に前期の地域協議会委員にアンケートをとったが、その後、集約についてはどうなっているのか。進捗状況を含めて教えていただきたい。

【中村センター長】

自治・地域振興課のほうで、アンケートは一旦集約を進めていたところだが、次の改選に向けて他にも協議しなければならない事があり、まだアンケートの集約には至っていないという話である。今は集計を少しストップしているというふうに聞いているので、状況を確認して連絡させていただきたいと思う。

【熊木会長】

牛木委員、それでよろしいか。

【牛木委員】

地域活動支援事業を活発にしている地域と活発でない地域がはっきり明確になってきている。地域協議会の委員が、どういうものを課題として抱えているのか。悩みを抱えているのかということも含めて、私はアンケートの回答に非常に興味を持っている。本来アンケートをとったら、少なくとも最低でも年度内にその回答を出すのが、あり方と思っている。優先順位があって、今そのアンケートが集約できていなくて、作業がストップしていることについては、ちょっと意外である。

【熊木会長】

担当課の方にアンケートをできるだけ早く集計するように、事務局からも伝えて欲しい。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。